

No.781 December 2021

ASAHIMACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち

2021

12

No.781

実りに感謝、ほころぶ笑顔



ナターシャ
娜塔蝦さん

Facabook フォロワー 2.6 万人
「娜塔蝦の滑雪食旅手記」

日本旅行、スキー、ワインの分野が得意なブロガー。スキーはインストラクター並の腕前



さけお
酒雄さん

Facabook フォロワー 4.2 万人
「酒雄風日本」

以前に空気神社を目的に朝日町へ2度訪問。日本旅行が専門であるが、酒類にも詳しい



エリシア
愛莉西亞さん

Facabook フォロワー 15 万人
「日本。私旅行」

元旅行誌の記者、現在は旅行誌の作者。得意分野は日本への旅行分野全般

台湾に朝日町の情報を発信！！

台湾人の朝日町親善ブロガーを選定

この度、台湾における朝日町の知名度の上昇やファンづくりを目的とした、台湾人の朝日町親善ブロガー3人を選定しました。町ではブロガーの影響力が大きい台湾におけるPRとして、継続的に連携するブロガーの選定を昨年度から検討してきたところです。

本誌令和3年4月号でも紹介したオンラインセミナー後、応募のあった12人の中から2人を選定。そして以前から町と関りがある台湾ブロガー協会常務理事であり日本観光プロデューサーである酒雄さんには引き続き協力いただきます。3人にそれぞれ町親善ブロガー認定証、名刺、ユニフォームとして朝日町ミズノコラボポロシャツとウサヒマスク、町のリンゴが使用された高徳りんごグミが贈られました。

現在、親善ブロガーの皆さんと毎月1回、研修や情報交換を目的としたオンライン交流会を実施し、町の観光スポットを始め、特産のリンゴやワイン、産業やイベントまで幅広く紹介しています。11月に台湾の百貨店で行われた台湾リンゴプロモーションでは、親善ブロガーがコラボポロシャツとウサヒマスクを身に付けて取材し、情報を発信（下写真）。「初めて食べた朝日町のリンゴは台湾のリンゴと違い、新鮮



で甘くてとてもおいしかった」と大好評でした。この情報はSNSでの反応が良く、通常時よりもコメントが多く寄せられ、台湾の方の関心度が高いことが改めて感じられます。また町のリンゴが使用された高徳りんごグミの記事は関心度がより高く、「いいね」数が2,000を超える記事もありました。情報発信の効果もあってか、百貨店では例年以上に町のリンゴが売れているとのことです。

今後も継続的な交流会と情報発信を行う予定となっており、親善ブロガーの皆さんは1月実施の「ふじ」主体の台湾リンゴプロモーションの取材を楽しみにしていると話していました。観光面に加え、農産物の販売を通した朝日町の発信に力強い味方になってくれることが期待されます。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
台湾人の朝日町親善ブロガーを選定
- P4 雪国の冬を安全に過ごすために
- P8 町政スポット
・朝日町自治功労者等表彰式
・除雪隊辞令交付式
・長岡秀典さんが藍綬褒章を受章 ほか
- P10 まちレポ
・前田沢交通安全かし
・あさひ国際交流推進フォーラム
・ドキドキ探検隊「焼き芋＆秋葉山探検」
・朝日町名所ツアー ほか
- P14 赤く彩られた晩秋の朝日町 無袋ふじ誕生 50 周年
- P15 各種スポーツ大会 文化コンクール等の入賞結果
- P16 ももいろメイトのばんげだなはあ
- P17 それいけ協力隊とウサヒ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい
朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P19 戸籍のまど、となりのりんごさん、自在坊の活地藏菩薩堂が再建、七またダイコンあらわる！
- P20 夜の図書館

表紙の写真



12月3日、収穫の終わったリンゴの発送作業に勤しむ農家の方を訪問しました。一年間の総仕上げとなるこの作業。リンゴが傷まないよう寒い場所での作業中に、隣で作業をしている奥さまとの会話でふと見せた笑顔を撮影しました。

町長歳時記 (181)

持続可能な社会を目指して ～「持続」とは 「成長」し続けること～

今年も昨年に続きコロナ禍対応に努めながら町政に取り組んできた一年となりました。ワクチン接種等医療環境への対応や、地域経済対策さらには感染拡大防止をはじめ社会生活全般に渡る影響に係る対応など、一つひとつの対策に知恵を絞り、今でき得ることの最善を尽くして取り組んで参りました。実際これらに係る対応には人的にも時間的にもかなり多くの部分を費やすことになりました。しかし、このような危機管理を通して、町民の皆さんの安心安全な暮らしを守るという第一義的な役割を、学び・高め・遂行することが出来たこと自体にも、大きな意義を感じています。

今コロナ禍の他にも様々な課題・問題が噴出してきています。地球温暖化による自然災害の巨大化・甚大化。児童生徒一人一台タブレット配布に象徴されるように、GIGA スクールなどIT 化の急激な進展による教育環境の変化。IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」というDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展により、世の中の有り様がガラッと変わってしまう状況が目の前に訪れています。

「持続」とは何か。「持続可能な社会の実現」とは、現状をそのままの形で引き継いでいくことなのでしょうか。

「限界集落」「地方消滅」といわれて久しい。そんな時代の中、人間の営みとして次世代に引き継がれていく持続可能な社会を築いていくには、劇的な変化にたじろぐことなく、むしろ新たなものを吸収し創出していく絶好のチャンスであることを認識することが重要です。私たち自身が、自ら学び・自らを高め・自ら実行し成長し続けていくことが、持続可能な世界の実現につながっていくものだと思います。

朝日町長 鈴木浩孝

危険察知クイズ —あなたはいくつ思い浮かびますか—



Q.この写真のどこに危険が潜んでいるでしょうか？可能な限り挙げてみましょう。

ヒント

- ・降雪時の交差点
- ・片側二車線など

事故の防止には運転中に周りをよく見るだけでなく、事前に危険が潜んでいるポイントを想像し、備えることが重要です。普段から意識して運転し、事故0を目指しましょう。

答えは裏表紙（P20）の編集後記をご覧ください

▲写真はイメージです。町内の場所ではありません。

冬道 気を付けたい町内スポット



大 滝

宮宿方面から大滝方面へ向かう際、上郷ダムへ降りる道と合流する辺りから幅員が減少。坂でスピードが出やすく、左へのカーブのため遠心力で事故が発生しやすい



真 中

真中茶屋前交差点へ中沢方面から真中方面へ坂を登る際に、スリップして左右に振れて事故が発生しやすい



中 沢

バス停「中沢」の前を真中方面から通る際、横断歩道で停まった車があると、手前がカーブのため気付きにくく雪道ではブレーキが利きづらいため危険

特集 雪国の冬を安全に過ごすために

白倉展望台からの風景：12月2日撮影

11月27日に初雪を観測した山形県。12月に入り、寒さもますます厳しくなってきました。山形の冬といえば「雪」。昨年は朝日町に豪雪対策本部が設置されるなど雪が多い年となり、県内でも多数の事故が発生しています。今年も油断せず冬に向けて準備していかなければなりません。

そこで、今号では冬の交通安全や雪下ろしなど冬に向けた安全対策について特集します。

12月は交通事故が多発する時期

積雪や路面凍結、吹雪等の悪天候による視界不良など交通環境が悪化することから、12月は1年で最も交通事故が多い月とされています。また、高校生が運転免許を取得し始め、初心者ドライバーをよく見かける時期でもあります。

例年、忘年会などで飲酒の機会が増える時期ですが、今年はコロナ禍により、自宅で飲酒をして途中で車で買い物に出かけ、飲酒運転をする事例が増えています。その対策として、山形県では12月11日（土）から12月20日（月）までを「令和3年度飲酒運転撲滅・冬道の交通事故防止強化旬間」として3つの重点項目を定め、交通事故の啓発を行います。

- 1 悪質・危険な飲酒運転の撲滅
- 2 ブラックアイスバーン（※）や積雪路面でのスリップ事故防止
- 3 夕暮れ時からの横断歩行者事故の防止

これらの事故防止のために具体的にどういった行動をとればよいか紹介します。

※アスファルトが濡れているだけに見えるが実は凍っている路面

冬道の安全運転5則

- ①スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- ②車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤危険がいつぱい。追い越しはしない。

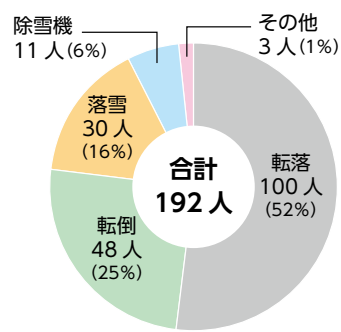
積雪・凍結路の注意ポイント

- カーブ：遠心力で車は外へ外へと流れやすくなります。対向車にも気をつけましょう。
- トンネルの出入口：目の明暗順応で先の状況が見えにくいため、路面状況の変化を予測した運転が必要です。トンネルを抜けた先の道路状況に注意。
- 坂道：下り坂は止まりにくいので、事前に十分な減速をしましょう。上り坂では、スリップしやすいので発進時のアクセル操作を慎重にしましょう。
- 橋の上：吹きさらしの路面は、凍結している可能性があります。橋の上はアイスバーンと心得て、慎重に運転しましょう。

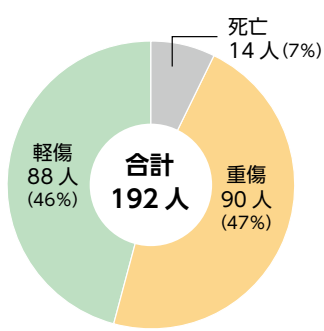
安全な除雪のために

毎年ニュース等で除雪にまつわる事故が取り上げられていますが、他人事だと思っていませんか？慣れている作業だからこそ改めて安全について考えてみましょう。

令和2年度山形県雪害事故原因別発生状況



令和2年度山形県雪害事故発生状況



出典: いきいき雪国やまがた「雪害事故データ」
http://ikiikiyukiguni-yamagata.com/

事故は誰にでも起きる
 昨年度、山形県では192人の方が雪害による事故に遭い、そのうち約52%にあたる100人は雪下ろし中の転落による事故です。また、全体のうち死亡者が14人(約7%)、重傷者が90人(約47%)となっており、多くの方が雪下ろしや除雪作業中の事故で死傷しています。事故が起きると思って、除雪作業をする人はいません。事故に遭ったほとんどの方が「今までなんともなかったから、自分は大丈夫」と思って、転落や落雪といった重大な事故の被害を被ってしまうのです。頁下段で紹介しているお2人のケースも「まさかの事態」が起きてしまったケースといえます。

安全のための8つのポイント
 山形県では雪害事故の半数以上を占める雪下ろし中の事故を防ぐ8つのポイントを設定しています。内容は、
 ①屋根の雪のゆるみに注意！
 ②安全な服装・装備で！
 ③命綱を使いましょう！
 ④はしごはしっかり固定！
 ⑤使いやすい除雪道具で！
 ⑥2人以上で作業！
 ⑦無理な作業はしない！
 ⑧足場にはいつも気を付けて！
 となつています。重要なのは樂觀視しないということです。「雪はゆるまないだろう」「はしごは動かないだろう」等と多少危なくとも大丈夫だろうと思うことが事故につながる一歩となります。

事故を体験した方の貴重なお話

落ちるはずのない屋根から雪が



町内在住
30代男性

倉庫に物を取りに行こうとして入口の雪を掃いていたら、屋根から雪が落ちてきて背中と足をけがしました。まず背中に雪が落ち、倒れて息ができないところに足にも落ちてきて下半身に雪に埋もれてしまいました。その時点で足がどこかを向いて完全に折れたと思いました。どうにか息ができるようになったので携帯電話で助けを呼び、その後救急車で運ばれ即入院。杖を使って1人で歩けるようになるまで2か月くらい掛かりました。

事故直前、屋根の雪は少し出ているくらいでまさか落ちてくるとは思っていませんでした。その日は暖かく、雪が溶けて落ちてきたのだと思いますが、ちょうど下にいるときに雪が落ちてくるなんて…タイミングが悪かったです。携帯電話を持っていてすぐに助けを呼べたことはよかったと思いました。冬に使うものを雪が降る前に用意しなかったのが間違いの元だったと反省しています。

屋根に掛けたはしごがまさか



町内在住
40代男性

屋根の雪下ろしをしようとはしごを屋根に掛け、もうすぐ屋根に足を掛けるというところではしごが滑り、顔を地面に強打しました。

地面が凍っているのは分かっていたのですが、今まで滑ったことはないし、大丈夫だと思っていました。地面から2メートルというそれほどではない高さでも、勢いがついているので手をついても止まらずに顔を打ち付け鼻から大出血。今は大丈夫だけど事故の後ちょっとした屋根に上るのも怖くなりましたね。

事故の反省を生かしこれからは危険を甘く見積もらず、絶対安全なところにはしごを掛けるか、はしごと柱等をひもで結んで滑らないようにしたいと思います。



▲後方にはしごが滑って転倒(イメージ図)

積雪に備えるために

雪の降る時期はその年によってさまざま。本格的に雪が降る前に準備をすることが重要です。降ってから慌てないように早め早めに準備しましょう。



もしもの時に備えて車に載せたいもの
 ①スコップ＆手袋
 駐車場で車が埋まった時や雪道でスタックした時の必需品。スペースをとるのが嫌な方には折りたたみ式もあります。
 ②毛布(使わなくなったもの)
 寒い時に体に掛けて温まるのはもちろんのこと、雪道でスタックした際にタイヤの下に敷くことで動きやすくなります。
 ③懐中電灯
 夜に車が止まってしまつて近くに電灯がない場合、何をするにも明かりがないと危険です。頭に着けるタイプもあれば作業しやすく便利。
 ④ジャンプスターター＆ブースターケーブル
 冬は気温が低いいため、バッテリーがあまりやすくなっています。これらがあればそんな時でも単独で対応することができます。スターターにはスマートフォン等の充電も可能なモバイルバッテリーとしても使えるものも存在し、普段使いや非常時のどちらの場合にも便利です。
 ⑤けん引ロープ
 動かない車を引っ張る際に使用。人を助ける時、逆に助けてもらう時にも使用します。

そがき作業の注意点
 ・避難経路の確認
 火災や地震が発生した時にそがきが避難の妨げになることがあります。避難経路の確認や除雪を行い、常に迅速に避難できるようにしましょう。
 ・ホームタンクに注意
 灯油を貯蔵しているタンクを外に設置している方は、落雪による破損を防ぐためそがきをしましょう。破損すると油の河川流出などの重大な事故につながる可能性があります。

大規模な積雪や路面凍結によって、スリップ等が発生し車が立ち往生してしまう場合があります。そんな事態に備えて事前に対策を取りましょう。

⑥保存食(飲み物)
 冬の事故は救援がすぐに来るとは限りません。お腹が空くと気が滅入るので用意しておきましょう。期限が近付いたら食べて新たなものを備蓄しましょう。

屋根からの落雪や積雪の重みによって家屋や庭木に損害が出ないように、そがき(雪囲い)をしましょう。強度があり結びやすく、ほどこにくいいためそがき作業でよく使われる男結びの手順を下の欄で紹介しています。

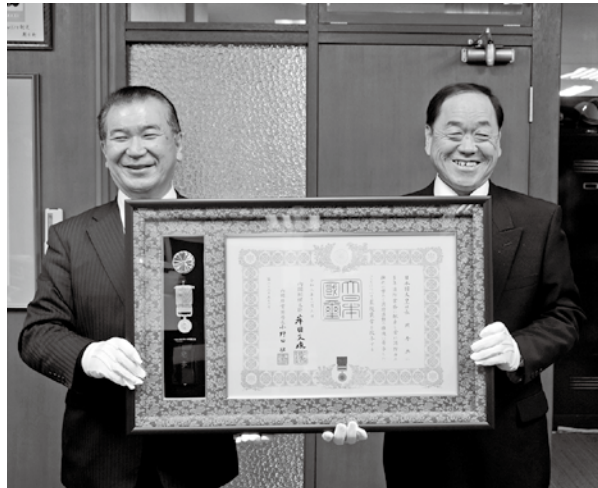
男結びの手順

そがきの時の年一回しか使わず、忘れてしまう方が意外と多いと聞きます。これを機にしっかりと覚えてみましょう。



令和3年 秋の叙勲・褒章 長岡秀典さんが藍綬褒章を受章

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



▲藍綬褒章を受章した長岡秀典さん（右）

（※）藍綬褒章とは…

国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務に尽力した方に贈られる褒章。今回は全国で462人、県内では長岡さんを含め8人が受章しています。

秋の叙勲・褒章で、長岡秀典さん（栄町）が藍綬褒章（※）を受章しました。

長岡さんは昭和58年4月に朝日町消防団へ入団して以来、現在に至るまで火災現場で消火活動に尽力されたほか、数々の消防団幹部の要職を歴任。平成27年4月以降は、副団長として団員を統括し、実火災において的確な判断と指揮により被害を最小限に食い止めるなど町民の生命と財産を守ってきました。また、予防消防の重要性を考え、自ら講習会で指導を行い、予防

察の徹底を図りました。受章を受けて長岡さんは、「このような褒章をいただき光栄に思います。これまでを振り返ると朝日町が操法で全国大会に出場したことや、消防団活動を通じて多くの方と出会えたことなどさまざまなことが思い出されます。休日でも団の活動に理解を持って送り出してくれた家族に感謝しています。今後はこれから消防団員がなくなっていく中で町民の安全をいかにして守っていくかを考えていきたい」と話しました。

あさひ数学・英語学習会が開講



11月13日、町教育委員会が主催するあさひ数学・英語学習会が開講しました。高校受験に向かう中学3年生を対象に、外部人材を活用した学習機会を提供すること、学力の向上させることを目的に実施しています。

初回となったこの日は約25人の中学生3年生が参加し、集中して講義を受けていました。この学習会は1月22日まで各10回行われます。

小林道和さんが地方教育行政功労者表彰を受賞

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302



地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会委員、教育長を文部科学大臣が表彰する地方教育行政功

労者表彰を小林道和さん（前田沢）が受賞しました。小林さんは平成20年から約6年間にわたり朝日町教育委員会委員長を務め、教育環境の整備に尽力されました。平成27年4月には同教育長に就任し、第2次朝日町教育振興計画の策定を主導。コミュニティ・スクールを導入・推進し、子どもの育ちを学校と地域が支える体制づくりに努められました。このたびの表彰はその功績が評価されたものです。

令和3年度 朝日町自治功労者等表彰式

■総務課 総務係 ☎67-2111

町の振興発展に貢献された方々を表彰する自治功労者等表彰式が11月9日、創遊館ホールで開催され、2個人1団体へ表彰状が贈呈されました。受賞者は以下のとおりです。（順不同）



自治功労

堀 幸雄 氏（大暮山）

平成25年から8年間、区長として区民の声に耳を傾け、区の重要課題の解決に取り組む等町や北部地区の振興発展に寄与。



善行褒章

杉山元気クラブ

代表 浅岡 定一 氏（杉山）

平成18年から現在までの長きにわたり、高齢者が気軽に集まり話し合える場を設けるなど、高齢者の健康増進と地域福祉の向上に貢献。



善行褒章

白田 敏男 氏（大谷第四）

永きにわたり、区内道路の除雪作業、通学路における交通安全の啓発等を行い、交通安全の推進、公德心の高揚に寄与。



▲創遊館ホールにて、「自治功労賞」、「善行褒章」、「区長を退職しての感謝状」を受賞した皆さん

冬の雪道の安全安心を担う 除雪隊辞令交付式

■建設水道課 整備係 ☎67-2115



12月1日、開発センター集会所にて除雪オペレーター24人に辞令が交付されました。辞令交付式では鈴木浩幸町長から「町民の皆さんが冬期間を快適に過ごすための重要な仕事である除雪運転技師の業務に、自信と誇りを持ってあたっていただきたい」と激励。運転長に任命された小野幸浩さん（大谷第三）は「冬期間の町民の生活や足を守るために除雪運転技師24人が一丸となつて事故のない除雪作業にあたる所存です」と決意を語



ります。その後、除雪基地にて作業の無事を祈願する安全祈願祭が行われました。

今年度、除雪計画の総延長は266.2キロ。その内、町が除雪を行う町道分は179.7キロに及びます。除雪ドーザ16台、小型除雪ロータリー5台、大型除雪ロータリー1台、除雪グレーダー1台の計23台の除雪車のほかハンドガイド3台、融雪剤散布車1台、パトロール車2台、作業車2台を総動員し、冬季交通網の確保にあたります。



◀約160人の町民が講演会に参加

11/7 テレビでおなじみの齋藤孝氏が登壇 「あさひ教育の日」制定 10 周年記念講演

町は平成 24 年度に「あさひ教育の日」を制定し、家庭や学校、地域社会の連携の下に教育の充実と発展を図るための啓発活動を行ってきました。その制定から 10 周年を記念しての講演会が 11 月 7 日、創遊館ホールで開催されました。さまざまなメディアに出演し、国語教育やコミュニケーションについての著書を多数執筆している齋藤孝氏が講師となり「人間関係をつくるコミュニケーション力」をテーマに講演が行われました。町は今後も「あさひ教育の日」を推進していきます。



▶町内外からファンが訪れ、あまりの人氣に昼前に完売となったウサビ御守



11/13 神社境内に響く子どもたちのにぎやかな声 豊龍神社ミニマルシェ

11 月 13 日、豊龍神社（豊嶋宏行宮司）の境内でミニマルシェが行われました。これは桃色ウサビを刺しゅうであしらった「ウサビ御守」の頒布に合わせ、町内の食品小売店等の事業者が出店して開催されたもの。当日は天候に恵まれ、多くの親子連れ等で賑わい、ウサビ御守も午後のウサビ登場を待たずしての完売となりました。子どもを連れて境内を訪れた方は「まるで縁日のような賑わいで子どもたちも楽しそうでした」と笑顔で話していました。

11/14 3大会ぶりの準優勝を果たした朝日Aチーム 第 67 回西村山地区駅伝競走大会

11 月 14 日、第 67 回西村山地区駅伝競走大会が開催され、朝日Aチームが準優勝に輝きました。大会には 1 市 4 町から 8 チームが出場。中学生と高校生、一般という世代の異なる選手たちが、朝日町から寒河江市までの総距離 63.7 キロ（8 区間）を、1 本のタスキでつなぎました。監督兼ランナーの長岡輝喜さん（新宿）は「初出場の選手を含め、中高生の活躍により準優勝という結果を残すことができた。今後はさらに良い結果を残せるようチーム力を高めていきたい」と話していました。



◀朝日Aチームの6区を走った鈴木伸さん（助ノ巻）が区間賞を受賞

11/17 昔話で子どもたちの聞く力を育てる 語りの会つむぎ「あさひ保育園で昔語り」

11 月 17 日、子どもたちの聞く力を育てる「昔語り」があさひ保育園で行われました。この会は「語りの会つむぎ（成原千枝代表）」により、保育園で定期的に行われています。3・4 歳児クラスが「3びきのやぎのがらがらどん」を、5 歳児クラスが「雀もさ雀もさ」を聞きました。話をした同会の会員は、「集中してお話を聞いてくれていて、応答もしっかりしていました。短い話もしてみたら『面白いからもう 1 回話してほしい』と何度もせがまれました」と笑顔で話していました。



▲3 歳児クラスだけは手袋シアターを使用してお話



▲現地で最後の手直しをする生徒といきいきクラブの皆さん



◀発表後は新ALTのソフィー先生による自己紹介が行われ、質疑応答は派遣生の通訳で行われました。

11/4 学校と地域の協働で伝統のかかしが復活 前田沢交通安全かかし

11 月 4 日、前田沢交差点近くの国道 287 号線沿いに人気アニメキャラクターをモチーフとした「かかし」が登場しました。このかかしは、前田沢いきいきクラブの皆さんが夏の交通安全を推進する目的で毎年制作していましたが、昨年からコロナ禍のため中止に。そうした状況の中、朝日中学校 2 年生の総合的な学習の時間の活動として生徒から同クラブへ共同制作の提案があり、2 年ぶりに設置されることになったものです。設置当日は多くの前田沢区民も参加し、作業を通して地域と生徒の交流が深まっていました。

11/6 研修で得た学びを伝え、さらなる学びへ昇華 あさひ国際交流推進フォーラム

11 月 6 日、あさひ国際交流推進フォーラムが創遊館で行われ、教育関係者等約 30 人が参加しました。中学生海外派遣事業の派遣生 8 人によるブリティッシュヒルズ（福島県）での活動報告。効果音の使い方やクイズ形式にするなど、工夫を凝らした発表に目を見張る参加者の皆さん。発表後の講評で堀俊一教育長は、「皆さんが失敗を恐れずにチャレンジして、新たに触れた文化から多くのことを吸収したことがよくわかる素晴らしい発表でした」と派遣生を褒めたたえていました。

11/6 地域の達人に学び自然に親しむ ドキドキ探検隊「焼き芋＆秋葉山探検」

「ドキドキ探検隊達人倶楽部（鈴木直幸代表）」が企画・運営する北部公民館事業「焼き芋＆秋葉山探検」が 11 月 6 日、秋葉山グラウンドの東屋周辺で行われ、北部地区の小学生等 12 人が参加しました。子どもたちは火を起こしたところに新聞紙とアルミホイルでくるんだサツマイモとジャガイモを投げ入れ、焼きあがるのを待つ間に秋葉山を探索。キノコやドングリを拾いながら山頂まで登り、お腹を空かした後、ホクホクの焼き芋とじゃがバターをみんなでおいしくいただきました。



▶焼きたてホカホカの焼き芋とジャガイモをおいしくいただきました。



11/7 紅葉の朝日町を巡る 朝日町名所ツアー

11 月 7 日、朝日町エコミュージアム案内人の会が主催する朝日町名所ツアーが行われ、約 10 人が参加しました。このツアーは同会の会員が選定した町内 5 つの名所（大沼の浮島・空気神社・榎平の棚田・豊龍神社・ハツ沼）を案内人の説明を聞きながら巡るというもの。大沼の浮島では、遊歩道を 1 周して入口に戻ると、浮島が初めて見た時と全然違う場所に移動しており、その動きの大きさに参加した皆さんは大盛り上がり。案内人の巧みなお話しも相まって、朝日町の名所を目と耳で楽しんだ 1 日となりました。



▲◀晴天の太陽の光に照らされ、鮮やかな紅葉がお出迎え



▶代表して謝辞を述べる菅井さん



11/26 手と手を携え 50 年 金婚賀詞伝達式

結婚 50 年の節目を迎えた夫婦を対象とした金婚賀詞伝達式が 11 月 26 日、開発センターホールで行われました。今年金婚を迎えるのは昭和 47 年に結婚した 23 組のご夫婦。出席されたご夫婦へ鈴木浩幸町長から賀詞が手渡され、50 年という節目を祝いました。その後、出席者を代表して菅井博さん（大隅）が謝辞を述べられました。結婚してからの半生を振り返り、「これからも夫婦仲よく『一生健康・一生現役』で地域づくりに寄与しながら町の発展に貢献していきたい」と締めくくっていました。



◀リンゴの贈呈の後は 1 年生から 3 年生へエールが送られました。

11/30 思いが詰まったリンゴで受験生を応援 合格りんご贈呈式

11 月 30 日、朝日中学校で合格りんご贈呈式が行われました。受験を控えている 3 年生に 1 年生が「合格」の 2 文字が入ったリンゴを手渡すこの行事。合格りんごは、毎年 1 年生が総合学習の授業の一環として栽培しているもので、これまで摘果・袋外しとシール貼り・収穫を体験してきました。一つひとつ内容が違う手書きの応援メッセージと後輩の思いが詰まったリンゴを受け取った 3 年生は、「この合格りんごを胸に、受験に向けて頑張っていきます」と応えました。



▶公民館の完成を祝うようにこの日は大朝日がはっきりと見えていました。



11/30 新たな地域づくりの拠点が完成 四ノ沢公民館落成式

このたび、四ノ沢区の新しい公民館が完成しました。同施設は木造平屋建てで、将来の負担を考え雪下ろしの必要がない片流れ屋根とし、入り口にはスロープが設けられお年寄りにも利用しやすい造りになっています。11 月 30 日に行われた落成式では、鈴木貞夫区長が「この施設は緊急時の避難場所や区の総会等としての利用はもちろんのこと、高齢者の方々や子どもたちが集える場として活用していきたい」とあいさつ。区民や工事関係者等約 20 人が完成の喜びを分かち合いました。

12/2 翌年の厄除け開運を祈願する 蓮成寺星まつり

12 月 2 日、蓮成寺（西船渡）で星まつりが行われ、翌年の厄除けや開運などを祈願する水行が披露されました。早朝から雪が降る中、ふんどし姿の僧侶 4 人が境内でお経を唱えながら、おけで水をすくい何度もかぶる様子を、信徒や近隣住民約 40 人が手を合わせて見守りました。大類秀憲住職は「無事に星まつりを開催できたことに感謝したい。新型コロナウイルスが早期収束し、安心して暮らせるよう皆さまと共にできることから精進していきたい」と話していました。



▲はきはきとした対応で注文を取る生徒たち
◀会計もバッチリ
▼豆をひくところから入れる本格的なコーヒー



▲スーパーの一角で行われたライブの様子。その演奏の迫力と優美な音に観客は酔いしれていました。
▼観客の間近に寄っての演奏。めったにない体験ができました。



▲（左から）ライブを企画した内藤真紀さん
ヴァイオリニストの竜馬さん
ピアニストの真島聡史さん



11/24 30 体験を通して課題解決能力を身につける 「カフェこだま」オープン

朝日中学校特別支援学級「こだま学級」の生徒が喫茶&シェアスペース「at LOUNGE」（大町）の場所を借りて、11 月 24 日と 30 日の 2 日間限定でカフェをオープンしました。

こだま学級では子どもたちが地域の中で自立した生活を送ることを目的として日々学習しています。そうした活動の一環として 6 年前から中学校の教室で教員や保護者を対象とした「カフェこだま」を企画し、実習してきました。2 年前からはより多くの地域の方々との交流を目指して街中でのカフェを実施。昨年はコロナ禍で実施できなかったため 2 年ぶりのカフェオープンとなりました。

生徒の発案で「とあるカフェ」と名付けられた店内では、コーヒーやカフェラテなどの飲み物とクッキーをセットで販売。注文を受けた生徒たちは手際よく飲み物を作ってテーブルまで運び、会計までこなしました。接客をした生徒たちは「少し緊張したけど明るく積極的に接客できたのでよかったです」と笑顔で話していました。

12/4 プロミュージシャンによる生演奏 "スーパー"ライブが開催

12 月 4 日、フレッシュストアヒグチ（栄町）店内にて、ヴァイオリニスト「竜馬」による無料ライブが行われました。これは「あさひまちブランド大学」に参加していた内藤真紀さん（小さなイベント屋さん／山形市）がコロナ禍で文化・芸術に触れる機会が減った子どもたちにプロのヴァイオリンの音を聞かせたいという思いで企画したもの。同じくブランド大学に参加したヒグチの社長である樋口義一さん（本町）が協力して実現しました。

竜馬さんは、これまで 300 本以上の映画・ドラマ・CM に携わっており、近年ではユニット「竜馬四重奏」としてメジャーデビュー、国内はもちろん世界でも活躍されています。「日常的な場所で、非日常なことをすることが好きなのでスーパーという舞台で楽しく演奏させていただきました」と語る竜馬さん。企画した内藤さんは「コロナもまだ続く状況にあり、今後も継続して町の子どものためにこうしたイベントを開催していきたいです」と話していました。

頑張った みんなに拍手！ 各種スポーツ大会 文化コンクール等の入賞結果

- ◆山形県中学校新人体育大会
県南ブロック大会

【優勝】

柔道女子個人2年 海野結菜

【第3位】

柔道男子個人1年 阿部蒼空

柔道男子個人2年 西澤峻

柔道女子個人1年 海野真穂

【ベスト16】

剣道女子個人2年 浅岡利愛

◆山形県中学校新人体育大会決勝大会

【第2位】

柔道女子個人2年 海野結菜

【第3位】

柔道男子個人2年 西澤峻

柔道女子個人1年 海野真穂

柔道女子個人2年 菊地舞

◆第63回山形県子ども絵画展覧会

【奨励賞】

朝日中2年 阿部ひゆり

【入選】

宮宿小4年 阿部正崇

宮宿小4年 富樫颯仁

宮宿小4年 阿部葉奈

宮宿小4年 佐藤菜月

◆建設業労働災害防止作品（図画）

【優秀賞】

大谷小3年 安藤大翔

【入選】

西五百川小6年 若月利穂

宮宿小6年 阿部秀之助

◆村山地域おいしいごはん
ポスターコンクール

【佳作】

宮宿小3年 阿部ゆめの

◆第32回大ケヤキ全国書道展

【優秀賞】

大谷小6年 鈴木くりあ

◆第32回大ケヤキ全国絵画展

【優秀賞】

大谷小5年 佐藤遼
- ◆読書感想文

【地区優秀賞】

朝日中3年 峯田結羽

◆中学生の「税についての作文」

【朝日町商工会会長賞】

朝日中3年 成原結愛

◆産経ジュニア書道コンクール

【ジュニア賞】

朝日中3年 堀光姫

【特別賞（いきいき賞）】

西五百川小3年 阿部蒼士

◆山形県民ふれあいジュニア書道展

【山形テレビ賞】

朝日中3年 堀光姫

【NHK山形放送局賞】

朝日中1年 阿部琥太郎

【山形美術館賞】

西五百川小1年 阿部美実

【ふれあい書道展賞】

朝日中3年 成原結愛

【県民書道会賞】

朝日中1年 今井美月

◆寒河江・西村山地区人権書道
コンテスト

【山形地方方法務局寒河江支局長賞】

西五百川小6年 阿部陽菜

【審査委員長賞】

西五百川小6年 布施穂

【優秀賞】

西五百川小6年 小松莉々姫

宮宿小5年 成原奏太郎

大谷小6年 佐久間彩寧

◆第40回全国中学生人権作文
コンテスト山形県大会

【寒河江地区奨励賞】

朝日中3年 阿部ななみ

◆「いじめ・非行」をなくそう
やまがた県民運動標語推薦作品
【町入選】

宮宿小1年 飯野心毅

宮宿小4年 安藤琉夢叶



赤く彩られた 晩秋の朝日町 無袋ふじ誕生50周年

11月に入り、リンゴの主力品種である「無袋ふじ」が赤く色づき、収穫の時期がやってきました。今年は無袋ふじ誕生50周年という記念すべき年です。今年もリンゴを求めて多くのお客さまが町へ訪れています。

11月19日には、和合地域交流センター「友和館（沼向）」で第41回朝日町りんご品評会が開催されました。56点の無袋ふじが出品され、糖度や熟度、外見や玉揃いなど、様々な観点から審査を実施。審査の様子は、昨年から町公式動画チャンネルで公開されています（左の二次元バーコードから動画へ飛びます）。今年は金賞以上の方へインタビューを行い、喜びの声をいただきました。

ぜひご覧ください。



第 41 回りんご品評会（出品 56 点）			
賞	氏名	地区	
最優秀賞	井澤 壽一	夏 草	
優秀賞	堀 敏男	大谷第七	
金賞一席	村山 征一	大谷第七	
金賞二席	渡辺 正博	四ノ沢	
金賞三席	菅井 伸昌	沼 向	
銀 賞 （ 5 点）	志藤 一夫	川 通	
	鈴木 紋子	大暮山	
	清野 文一	四ノ沢	
銅 賞 （ 5 点）	菅井 英幸	沼 向	
	堀 勇六	中 沢	
	菅井 誠吾	沼 向	
銅 賞 （ 5 点）	菅井 春彦	沼 向	
	堀 敦美	中 沢	
	川口 明子	大谷第二	
努力賞 （15 点）	阿部 智彦	夏 草	
	鈴木 祥宏	大 隅	
	菅井 克幸	小 原	
	海野 信也	送 橋	
	鈴木 孝幸	沼 向	
	村山 茂雄	大谷第七	
	川口幸次郎	大谷第二	
	菅井 善雄	沼 向	
	菅井 孝啓	沼 向	
	佐藤 純一	小 原	
	白田 憲彦	大谷第三	
	長岡 秀昭	前田沢	
	清野 輝文	四ノ沢	
	菅井 勇輝	沼 向	
	菅井 恒好	沼 向	
	齊藤 利彦	夏 草	

②

①

最優秀賞 井澤壽一さん

④

③

①春に凍霜害がありながらも、各農家の努力により今年もおいしいリンゴが実った ②品評会で金賞以上を受賞した最高級のリンゴ ③無袋ふじ50周年を記念したポスター ④最優秀賞を受賞した井澤さん（写真は品評会動画より）

産経ジュニア書道コンクール

【ジュニア賞】

朝日中3年 堀光姫

第 32 回大ケヤキ
全国絵画展

【優秀賞】

大谷小5年 佐藤遼

寒河江・西村山地区人権書道コンテスト

【山形地方方法務局寒河江支局長賞】

西五百川小6年 阿部陽菜

建設業労働災害
防止作品（図画）

【優秀賞】

大谷小3年 安藤大翔

山形・朝日町
りんご品評会

最優秀賞 井澤壽一さん

無袋ふじ誕生50周年！
朝日町発祥「無袋ふじ」

おひさまいっぱい
笑顔いっぱい

川あそび

【特別賞（いきいき賞）】

西五百川小3年 阿部蒼士

窓下有清風

【審査委員長賞】

西五百川小6年 布施穂

希望

【審査委員長賞】

西五百川小6年 布施穂

生命

【審査委員長賞】

西五百川小6年 阿部陽菜



最近寒くなってきましたが、皆さんお元気でしょうか。協力隊インバウンド推進担当の林以真です。9月から台湾のブロガーと連携しながら朝日町のことをより多くの台湾人に知っていただき、そして実際に来ていただくことを目的とした取り組みが始まりました。今すぐに台湾から朝日町へ来ることは難しい状況ですが、台湾のブロガーとオンラインでつながり、町の産業や観光スポット、そしてイベントについてのセミナーと情報交換会を定期的に行っています。朝日町の特徴や魅力を伝えるとブロガーさん達の関心度は高く、「朝日町に早く行きたい!」「朝日町のりんごは台湾のどこで売っているの?」「朝日町のワインを皆さんに



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。



▲オンラインで台湾ブロガーの方々に朝日町の魅力を伝える林隊員(右上から2番目)

朝日町に来ていただいて、町の魅力を体験してもらえ、日が早く訪れることを願っています。そのためには、さらに朝日町のことを学び台湾の皆さまをしつかりとお迎えできるように、これからも頑張りますので引き続きよろしくお願いします。

「インバウンド推進へ、また一歩前進」

インバウンド推進員(地域おこし協力隊) **林以真** (台湾出身)

おすすめしたい!」との好反応ばかりです。このような交流会を通して、台湾人のブロガーや台湾の関係者の皆さんから朝日町に興味を持つてもらえたことがとても嬉しく、これからの展開がさらに楽しみになりました。

先日、町を知るための研修の一つとして、初めてブドウの収穫体験をさせていただきました。農家の方からは、ブドウについて色々と教えていただきましたが、その中でハート形のブドウがあることを初めて知りました。そのブドウを農家の方が素敵な箱に詰めてくれたのですが、それは宝石箱のようですぐに写真を撮って台湾の友達に紹介したところ、「可愛い!」「食べてみたい!」と興味津々でした。

今は旅行等が難しい状況が続いていますが、台湾の方から実際に朝日町に来ていただいて、町の魅力



町立図書館新刊案内

2021年
ノンフィクション本大賞受賞作
「海をあげる」

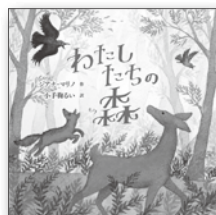
上間 陽子 著
筑摩書房



おびやかされる沖縄での美しく優しい生活。幼い娘を抱え、理不尽な暴力に直面してなお、その目には光が。自らの声を聞き取った、著者初のエッセイ集。

「わたしたちの森」

ジアナ マリノ
小手鞠 るい
ポプラ社 訳作



ここは、たくさんの動物たちが生まれそだった森。ある日、音もなく火の手が上がり、あつというまに炎がひろがりました。まっくらになった空の下、動物たちは必死に走り…。山火事を生きた森と動物の物語。



【ブックテマコーナー】
～楽しいことがいっぱい～
クリスマス・お正月

ももいろメイトの ばんげだなはあ

今号で第2回目となる不定期掲載コーナー「ももいろメイトのばんげだなはあ」。ももいろメイト(朝日町食生活改善推進協議会会員)が子どもたちに伝えたい朝日町の郷土料理を紹介します。



第2回

納豆汁

【材料】(4人分)

納豆 80 g	木綿豆腐 100 g
芋がら 10 g	平こんにゃく 125 g
ナメコ 100 g	セリ 40 g (ネギでも可)
油揚げ 30 g	ゴボウ 50 g
ニンジン 40 g	みそ 50 g
顆粒だし小さじ2	七味唐辛子適量

納豆だけど
ネバネバしないから
食べやすいね☆
ウサビもやみつき!



ここ最近めっきりと寒くなってきましたね。そんな寒い冬の郷土料理といえば「納豆汁」があります。全国的には1月7日に食べるものとして七草がゆが知られていますが、朝日町をはじめとした村山地域では、正月のごちそうで疲れた胃を休めるために納豆汁を食べます。七草がゆに必要な青菜の収穫が雪国では難しいため、納豆汁に代わったのではないかとわれています。町では、昭和30年代頃まで多くの家で掘りごたつを利用して

自家製の納豆を作って、納豆汁として食べていました。主な材料は納豆・みそ・豆腐・油揚げ・芋がらなど。納豆汁には、「畑の肉」ともいわれるほどタンパク質が豊富な大豆が多く使われているため、冬場の貴重な栄養源でした。今では「納豆汁の素」という便利な商品も売っており、簡単に作るができます。栄養満点で体も温まる納豆汁を食べて寒い冬を乗り切っていきましょう。

【作り方】

- ①納豆はすり鉢でよくすりつぶす。
- ②豆腐・こんにゃく・ゴボウ・ニンジンは1センチのさいの目切りにする。セリは1センチの長さに切る。ナメコは根を切る。
- ③油揚げは熱湯をかけて油抜きをして、1センチ角に切る。
- ④芋がらはお湯でもみ洗いして、1センチの長さに切る。
- ⑤鍋にゴボウを入れ、柔らかくなったから芋がら・ニンジン・油揚げ・こんにゃく・ナメコを入れて煮る。
- ⑥煮えたら火を止め、みそ・顆粒だし・納豆・豆腐を入れ、もう一度火をつけひと煮立ちさせる。納豆は煮汁で溶かしながら加える。
- ⑦器に盛り、セリをのせる。好みで七味唐辛子をかける。

※ポイント

納豆の風味が逃げてしまわないよう、納豆を鍋に入れてから煮たて過ぎないように気を付けましょう



戸籍のまど

Asahi town

11月1日～11月30日届出

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
大谷第二	川 村 新 一	きよゑ
常 盤	長 岡 あい子	和 一
西 町	吉 田 武 弘	道 子
大 沼	小 林 トキエ	勝 弥雄
沼 向	小 峯 田 定 雄	武 重
八ツ沼	阿 部 ハルヨ	春 な市
高 田	伊 沢 豊	は 祐康
宿 太郎第二	伊 佐 藤 トシエ	
	村 山 かねよ	

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●令和3年11月30日 現在

※（ ）内は先月比

人 口	6,378 人 (-19)
男	3,160 人 (-11)
女	3,218 人 (-8)
世帯数	2,368 世帯 (-3)

----- 11月中の異動 -----

出生	0人	転入	6人
死亡	16人	転出	9人

(※外国人を含む)



七またダイコンあらわる！

11月26日、町広報へ珍しいダイコンの話題が届きました。写真の通り、ダイコンの下が七またに分かれており、まるでタコやイカのように。発見者の方は、「二またや三つまたはよくあるが、七または珍しく、末広がり縁起がいい」と笑顔で話してくれました。

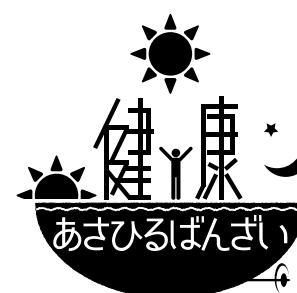
こないのリンゴさん (338) ホリイ



ハツ沼七不思議の一つ
自在坊の活地藏菩薩堂が再建

▲地図はこちら

11月14日、ハツ沼七不思議に数えられる「自在坊の活地藏菩薩堂」の上棟式が行われました。同菩薩堂は昭和3年に再建されてから90年以上が経過。老朽化による損壊が心配されており、代々活地藏菩薩を守ってきた海野強さん（西船渡）が人々の信仰を絶やさないために再建しました。七不思議では夜な夜な子どもや病人を助けて歩いたとされ、身体堅固・心願成就が約束されるとの言い伝えがあります。海野さんは「この地藏さまは守っていかなければいけない大切なもの。皆さんにも来てもらって手を合わせてもらえれば嬉しい」と語りました。



お子さまの食物アレルギー 気になる症状があったらまず相談を

【令和3年度 第9回】

今月の担当…菅井 久美子 保健医療係主任



アレルギーのある子が保育園の利用を予定している場合、入園前に医師、保護者、保育園の間で必要な情報を共有する必要があります。その際、使用されるのが生活管理指導表という書類です。保育園から書類が配布されたらかりつけ医に記入してもらい

アレルギーのある子が保育園の利用を予定している場合、入園前に医師、保護者、保育園の間で必要な情報を共有する必要があります。その際、使用されるのが生活管理指導表という書類です。保育園から書類が配布されたらかりつけ医に記入してもらい

食物アレルギーは、免疫システムが食物に含まれるたんぱく質に対して過敏に反応して起こります。代表的な症状としては、皮膚のかゆみやじんましんが挙げられます。重症な場合には意識がなくなる、血圧低下などのショック症状を起こすこともあります。

免疫システムは、ウイルスなどの病原体から体を守ってくれるもので、とても大切な働きです。ところが、本来なら無害な食物にも抗体が作られてしまい、過敏に反応することがあります。これが食物アレルギーです。乳幼児に多い食物アレルギーは卵、乳製品、小麦などですが、成長と共に多くの方が食べられるようになります。

アレルギーのある子が保育園の利用を予定している場合、入園前に医師、保護者、保育園の間で必要な情報を共有する必要があります。その際、使用されるのが生活管理指導表という書類です。保育園から書類が配布されたらかりつけ医に記入してもらい



町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【一言メモ】右奥の建物が新しい発電所で左手前側が旧発電所。新・旧発電所が並んでいるのは今しか見られません。

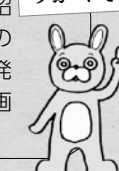
第51回 朝日川第一発電所

【DATA】県道白滝宮宿線、太郎と石田淵集落の間、道路の北側下に発電所の建物がある。

昭和29年（1954）山形県が朝日川の電源開発に着手し、昭和31年（1956）に発電取水と砂防を目的とした木川ダムの工事が始まりました。昭和33年（1958）に木川ダムから導水して、太郎地区にできたのが、最大出力9,000kwの水路式県営朝日川第一発電所です。現在、できてから60年以上にもなり発電施設が老朽化していることで、県は水力発電というクリーンエネルギー生産の持続を図るために発電所の建て替え工事を進めているところです。

朝日川水系には、当初3ヶ所の発電所を造る計画だったんだよ。昭和35年（1960）に木川地区に造られた朝日川第二発電所は、その上流朝日鉱泉の近くにある猿渡ダムから導水して発電する自流式発電所で、県内では初めて無人化されているんだ。さらに上流に計画されていた第三発電所は建設が見送られたんだよ。

案内人のつぶやき





夜の図書館

12月4日、閉館後の町立図書館を会場に「夜の図書館『Reborn 再生』～時の癒しと大いなる愛～」と銘打った朗読会が行われ、約40人が参加しました。このイベントは、より多くの方が図書館へ足を運ぶためのきっかけづくりと、本の世界の魅力を知ってもらうことを目的に平成28年から開催しています。昨年はコロナ禍のため中止となりましたが、今年は1回の人数を減らし1日に2回開催することで実現しました。今回は「Reborn 再生」をテーマに設定し、季節の巡りと命の営みを描いた絵本「またあえたね」や酒田市出身の詩人吉野弘さんの詩「I was born」などの朗読を披露。美しいピアノと歌声が朗読に華を添え、聴くものを魅了しました。普段静かな図書館に楽しい音が響き、参加者は特別な時間を過ごしていました。



◀【写真上から】朗読：板垣幸江、ピアノ：田中ふみ子、歌：大類雅子（敬称略）

春夏秋冬 編集後記

意識が変われば
行動が変わる

今月号では冬の安全対策について特集しました。個人的に気になったのはそがきで使われる「男結び」です。一度覚えてたけど忘れたという方だと特集内の説明を見れば思い出せるかと思えます。一度も結んだことがない人だと難しいかもしれませんが、チャレンジしてもらえたら幸いです。

近頃だいたい寒くなってきました。この文章を書いている時点ではまだ積雪はありませんが、白一色の風景となるのももうすぐです。今年も残りあとわずか、事故など起こさずに最後まで気を抜かずにいきましょう。

鈴木貴典

【危険察知クイズの答え】

- ・ 地面が凍結して滑るかも ・ 強風で視界がホワイトアウトするかも
- ・ 左から来る車が止まらず交差点に突入してくるかも ・ 電線から雪が落ちてきて視界不良になるかも
- ・ 右にいる青い車が右に行くのをやめ車線に入ってくるかも ・ 対向車が急に曲がってくるかも等。大丈夫「だろっ」ではなく危険「かもしれない」という意識で運転しましょう。